

新杵築市誕生十周年記念 特別展

重光家風韻

— 文教の地杵築と重光家 —



平成27年
9月29日(火)～11月29日(日)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

観覧料 大人200円 / 小・中学生100円

主催：大分県杵築市教育委員会

後援：大分合同新聞社 朝日新聞大分総局 読売新聞西部本社 毎日新聞社 西日本新聞社
NHK大分放送局 OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送
エフエム大分 NOAS FM OCT大分ケーブルテレコム

協賛：国東半島・宇佐の文化を守る会

重光家風韻

—文教の地杵築と重光家—

江戸時代の杵築は、3万2千石という小藩ながらも、豊後聖人と呼ばれた三浦梅園をはじめ多くの学者や文化人を輩出し、明治以後も多彩な人材を送り出したことで、文教の地として知られました。

その杵築の学風を修め、杵築藩のみならず近代日本を支えた家系の一つに重光家があります。1945年、当時の外相として降伏文書に調印した重光葵もその一人です。その父である、直愿は杵築藩の藩校の教授として文教を支え、さらに祖父の魚籘は、学問だけでなく武術も積極的に学び、杵築重光家の学風の基礎を築きました。

今回の展示では、重光家伝来品や各代の遺品を通し、文教の地杵築を振り返ります。

【会場構成】

- コーナーⅠ 文教の地 - 杵築 -
- コーナーⅡ 重光宗家伝来品
- コーナーⅢ 杵築重光家
- ミニコーナー 重光家ゆかりの地

※資料の状態によって一部展示内容の変更をする場合があります。



「丙午封事」(杵築市立図書館所蔵)



十文字槍 (重光家所蔵)



扇面蒔画木杯洗 (重光家所蔵)



印籠 (重光家所蔵)

記念講演

【日 時】 平成 27 年 10 月 1 日 (木)

13:00 から

【場 所】 杵築市文化体育館 (杵築市大字本庄2005番地)

【参加費】 無料

【講 師】 粕谷 哲夫 氏
(元住友商事理事・近代史研究家)

【定 員】 1000 名

【問合せ】 杵築市教育委員会
文化・スポーツ振興課文化財係
TEL: 0978-63-5558
FAX: 0978-63-5559



(※講演会場と資料館は場所が異なります)

(展示に関する
問い合わせ)

きつき城下町資料館

〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築 193-1

TEL: 0978-62-5750
FAX: 0978-62-5751